

～功績をたたえて～

町内在住の三浦英昭さんが瑞宝双光章を受章され、2月4日、佐々木学町長に報告しました。
三浦さんは教職員として、長年にわたり道内各地の小学校に勤務され、平成6年に退職された北海道深川市立一巳小学校では、全校歌声集会や交通安全街頭指導を通じて、児童と地域住民を結びつける取り組みに尽力されました。また、退職後は南空知地区の人権擁護委員を10年間務め、人権相談などで活躍されました。
三浦さんは「図らずも栄えある章をいただくことができました。町民と関係者の皆さんに感謝しています」と話していました。



栗山更生保護女性会（野原信子会長）会員の飯尾喜美恵さんに法務大臣から感謝状が贈呈され、2月1日、佐々木学町長に報告しました。
飯尾さんは平成3年の入会以来、犯罪や非行を犯した方たちの更生保護や、犯罪被害防止の啓発活動に尽力。また、平成23年には同会長、平成27年からは北海道地方更生保護女性連盟の理事を務められています。
飯尾さんは「長年にわたり、会員としていろいろな取り組みができました。思いがけない受賞でうれしかったです」と話していました。



町代表監査委員の谷田進太郎さんが、北海道町村等監査委員協議会（白田浩一会長）から表彰を受け、2月15日、佐々木学町長に報告しました。
谷田さんは平成23年から監査委員に就任され、以降11年にわたり町の予算執行や事業管理について、監査業務に取り組んできたことが評価され、今回の受賞となりました。
谷田さんは「町の予算執行がどうあるべきかについて、監査委員としてこれからも考えていきます」と話していました。



道からのお知らせ

「北海道総合計画【2021改訂版】」を策定しました

道では、平成28年～令和7年度までの10年を期間とした「北海道総合計画」を推進しています。この度、新型コロナウイルスの影響、デジタル化や脱炭素化といった社会の変化に対応するため、同計画の見直しを行い「北海道総合計画【2021改訂版】」を策定しました。これからも、北海道の強みを活かした政策を道民の皆さんとともに進めていきます。

【問い合わせ】 道庁計画推進課 ☎ 011-204-5630

北海道総合計画 検索

ケアラーの悩み、お聞きします

ひとりで悩まず相談を…

ケアラーは、心や身体に不調のある人の「介護」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族・知人などを無償でケアする人のことです。

- 【相談窓口】 町福祉課、町社会福祉協議会
【相談ダイヤル】 ※①～③の窓口は平日8:30～17:15です。
①子どもの相談 町子育て支援センター「スキップ」☎ 72-1280
②高齢者の相談 町地域包括支援センター ☎ 73-2255
③障がいの相談 町福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222
④ケアラーの相談 町社会福祉協議会 ☎ 72-2121（月・水・金/午前）
（専用ダイヤル）



町HPでも情報発信中！

「ヤングケアラー」という言葉を耳にするようになりました。大人が担うような家事や介護などを引き受けている18歳未満の子どもの多くは、自分で声をあげることが難しいため、問題が表面化しにくい特徴があります。



町福祉課福祉・子育てグループ 坂下 慎 社会福祉士

【問い合わせ】 町地域包括支援センター ☎ 73-2255

こんにちは！町史編さん室です

多謝・深謝・承継

多謝（お礼）
6年の歳月を辛抱強く見守り、ご協力いただいた多くの関係者の方々に感謝申し上げます。

編さんの中で、日々自問自答していたのは、栗山町開拓130年間の「まちづくり」を支えたものは何か？

その精神、現在も引き継がれているものを探っているか？
現在の編さん作業の成果は、10年後、20年後の町民が検証し、次世代を切り拓くための指針となるか？
そのための史資料として有効活用されるか？
歴史を俯瞰しながら、その時々の方々の想いにも近づいて叙述されているか？
ということでした。

3月末に刊行される予定の栗山町史第三巻（平成史）が、その答えになればと願います。

深謝（謝り）
編さん作業の中で思い知らさ

れた、たくさん課題があります。130年間蓄積された史料の収集・管理・活用体制の整備、まだ未読が残る泉麟太郎日誌などです。これらの課題は、指摘に止まったことを謝らなければなりません。

承継（継ぐ）
時代の「転換期」にある中で「栗山町史第三巻（平成史）」刊行の意義が大きいことを痛感するとともに、次世代への承継作業の一つをご報告できることに喜びを感じています。（阿部）

【問い合わせ】

町史編さん室 ☎ 7820



ケースのデザイン（案）